

お知らせ

学 校 名	県立岡山朝日高等学校
担 当 者	主幹教諭 吉本 良弘 指導教諭 後神 泉 教 諭 松北 高行
電話番号	086-272-1271

県立岡山朝日高校は、今年創立150周年を迎えました。

記念演奏会「諏訪内晶子&オライオン・ワイス デュオ・リサイタル」 を開催します！

県立岡山朝日高等学校の、創立150周年を記念して、「記念演奏会」を開催します。
お招きするのは、世界的に活躍しておられるヴァイオリン奏者の諏訪内晶子氏です。
共演者は、同世代で最も引く手あまたのピアノ奏者の一人であるオライオン・ワイス氏です。

記

- 1 日 時 令和6年 9月11日(水)
開演 13:00
- 2 場 所 岡山シンフォニーホール
- 3 対 象 本校生徒、保護者、本校同窓会会員
- 4 内 容 曲目・曲順は添付資料をご参照ください。
- 5 そ の 他 取材を希望される場合は、本校担当者へご連絡ください。

本校ホームページで、「創立150周年記念事業」
について紹介しています。

アドレスはこちらです。

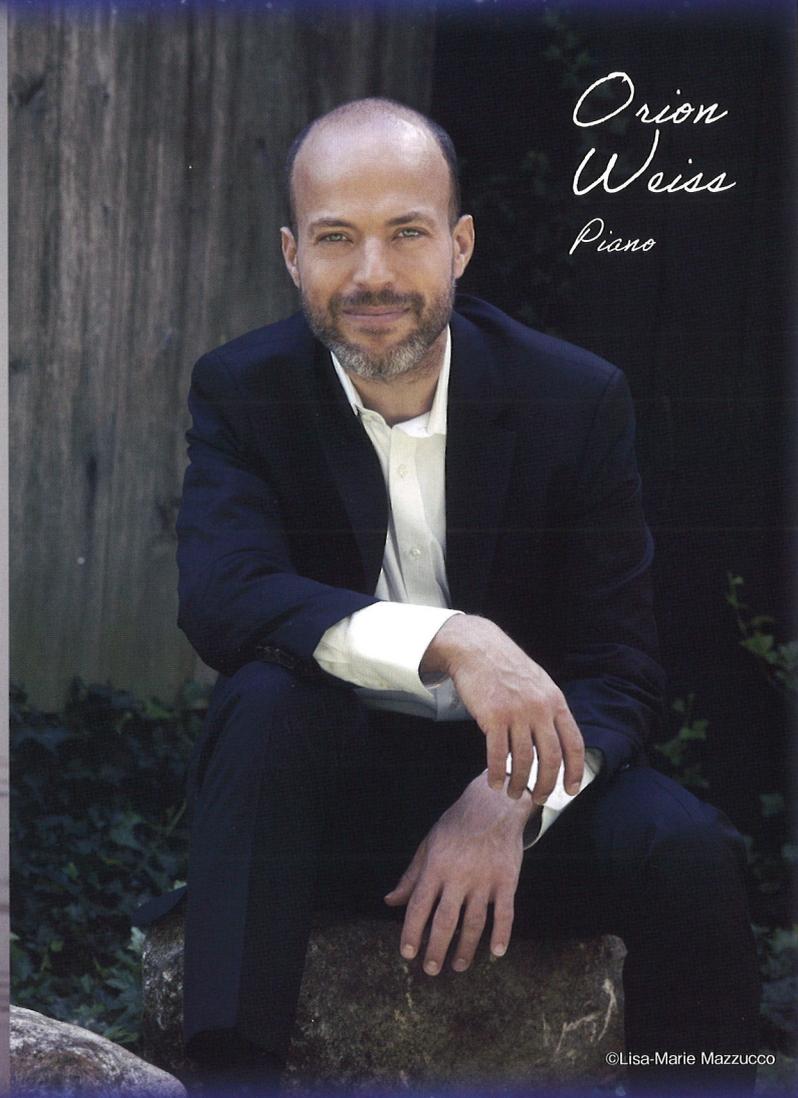


岡山県立岡山朝日高等学校 創立150周年記念演奏会



Akiko
Suwanai
Violin

©TAKAKI KUMADA



Orion
Weiss
Piano

©Lisa-Marie Mazzucco

諏訪内晶子 & オライオン・ワイス デュオ・リサイタル

2024.9.11(水)

岡山シンフォニーホール

開場 / 12:30 開演 / 13:00

Program プログラム

パガニーニ：カンタービレ ニ長調 Op.17

クライスラー：シンコペーション

コルンゴルト：「から騒ぎ」4つの小品 Op.11より

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調 Op.108

ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調 Op.78「雨の歌」

* 曲目・曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

諏訪内 晶子 (ヴァイオリン)

Akiko Suwanai, Violin

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュ、ゲルギエフらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ロンドン響、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。

近年ではゲルギエフ指揮ロンドン響とのツアー、パリ管とのヨーロッパおよび日本ツアー、チェコ・フィルとの中国ツアーを行い、オスロ・フィル、バンベルク響、デトロイト響、トゥールーズ・キャピトル管とも共演。

現代作曲家作品の紹介も積極的に行い、これまでにエサ=ベッカ・サロネン作曲「ヴァイオリン協奏曲」の日本初演(2013)、エリック・タンギ作曲「In a Dream」の世界初演およびフランス初演(2013)、キャロル・ベッファ作曲「ヴァイオリン協奏曲-A Floating World」の世界初演(2014)などに取り組んでいる。

2012年、2015年エリザベト王妃国際コンクール、2018年、2023年ロンドン・ティボー国際コンクール、2019年チャイコフスキー国際コンクール ヴァイオリン部門審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。

レコーディングでは、デッカ・ミュージック・グループとインターナショナル・アーティストとして専属契約を結んでおり、最新作「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)」を含む15枚のCDをリリースしている。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学び、2021年学術博士課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。

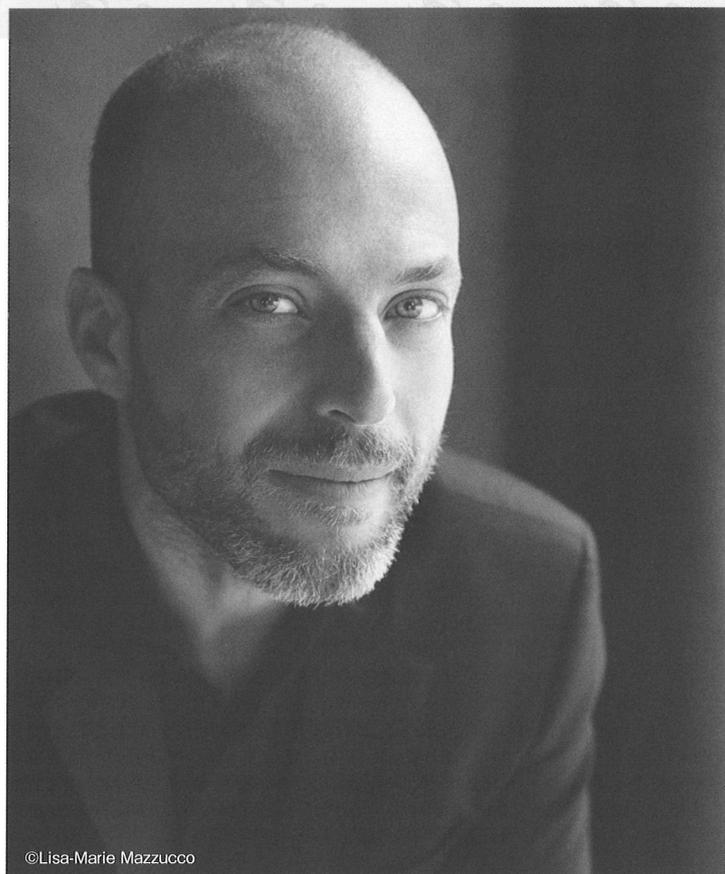
使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr.Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のガルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。



©Kiyotaka Saito



演奏者紹介



©Lisa-Marie Mazzucco

オリオン・ワイス (ピアノ)

Orion Weiss, Piano

同世代で最も引く手あまたのソリスト及び室内楽共演者のひとりであるオリオン・ワイスは、「力強いテクニックと非凡な洞察力」(ワシントン・ポスト)を持つ「才気あふれるピアニスト」(ニューヨーク・タイムズ)と広く見なされている。シカゴ交響楽団、ボルティモア交響楽団、ボストン交響楽団、サンフランシスコ交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、ニューヨーク・フィルハーモニックを含む北米の多数のオーケストラと共演し、世界中の主要な公演会場や音楽祭に出演している。

室内楽を好むことで知られているワイスは、多数のソリストと定期的に共演しており、その中にはヴァイオリニストのアウグスティン・ハーデリヒとジェイムズ・エーネス、ピアニストのマイケル・ブラウンとシャイ・ウォスナー、そしてアリエル・カルテット、パーカー・カルテット、パシフィカ・カルテットが含まれる。近年はイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団、トロント交響楽団、ナショナル・アーツ・センター管弦楽団、オルフェウス室内管弦楽団とも共演している。ワイスの録音はナクソス、Telos、ブリッジ、ファースト・ハンド、Yarlung、Artekの各レーベルから出ている。

これまでにクラシック・レコーディング財団のヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤー、ギルモア・ヤング・アーティスト賞、エイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラント、ミエチスラフ・ミュンツ・スカラシップを授与されている。オハイオ生まれ。クリーヴランド音楽院とジュリアード音楽院に通い、後者ではエマニュエル・アックスに師事した。

www.orionweiss.com.